

「あすへひとこと」(邑楽町老人クラブ連合会・あすへひとこと編集委員会)は、邑楽町在住の
お年寄りたちの貴重な体験談を、邑楽町あすへひとこと編集委員会が編集・発行したものです。

若い人たちに語り継ぎたい。そして、次の世代に
残してほしい貴重な話しをお届けします。

お年寄りたちの貴重な体験談(第十一回)

あすへひとこと

亡父の思い出話

父は生前、私にいろいろな思い出話をしてくれました。次も、私
がいつも懐かしく思っている、亡
父の思い出話の一つです。

私が七才(明治三十年)の時の
ことだった。

その日もよい天気で、四月下旬
の風は暖かく、田んぼで働いてい
ると、汗ばむほどだ。父母が裏田
んぼ(足利市高松町)の西

で苗間の土作り作業を
していたのを手伝い
ながら、農作業の
やり方を教わっ
ていた。

仕事に疲れ飽
きると、れんげ
畑の中に寝転んで、



れんげ畑

空にさえするひばりの声を聞きな
がら、ついうとうとと眠くなるよ
うな日差しは午後だった。

一休みしてまた父母のところ
に行き、土作りの作業を手伝う。や
がて日も傾き、麦畑や菜種畑に薄
もやがたなびき、夕暮れが迫って
来ても、まだ仕事は終わらない。

そのころは、現在のように機械
化された農業ではなく、体を使う
農作業だった。みんなで力を合わ
せて、早く仕事を終わらせようと、
一生懸命働き、終わっ

た時にはもう日も
暮れ、遠く御厨

(足利市福居
町)、県、渋

垂方面の家々
に、明かりが
とまり、空に
は春の淡い星の

光が瞬くように輝
き始めた。

昔は、朝は朝星
夜は夜星と言っ
て、朝は空に星が
輝いているうちに
起き、夕方は星の
光が見え出すまで
働いたものだ。

暗さが深まり後
片付けをしなが
ら、何げなく渋垂
の方に顔を向ける
と、田んぼの中に
ちようちんの明か
りのようなもの
が、一つぽうつと
見えたと思ってい
るうちに、その
辺りのあちらこちらに、いくつも
いくつも明りがともりだした。

「お父さん、あんなにたくさん明
かりが」と言うと、「あれは、狐の
嫁入りだ」と話してくれた。

そのうちに、明かりは並んで北
東の方に動き始め、麦や菜種に見
え隠れしながら、進んでいく。三、
四分たつと、一つ消え二つ消えし
て、すっかり見えなくなってしまう



毎年5月3日に新潟県阿賀町で開催される
「つがわ狐の嫁入り行列」

写真提供：阿賀町役場 企画観光課

た。れんげ畑の中で寝転びながら、
夢でも見ているような、幻想的な
あの時の光景は、今でも目の前に
浮かび忘れることはないであろう。

高齢者の語り第一集

「あすへひとこと(昭和六一年二
月一日発行)―思い出をたどっ
て―」より

亡父の思い出話

茂木 忠二さん(鶴下・一三区)



春のおとずれ
(千原田向地
大正橋付近)



Photo 広報担当者

ひとりと From editors

▼例年になく3月になっても寒い日が続きましたが、やっと気
候のよい穏やかな季節がやってきました。これからだんだん暖
かくなってきて、植物が芽を出し、花々が咲き始める時期。寒さ
の苦手な私にとっては、一番好きな季節です。▼最近、年齢と共
に健康診断での異常値がだんだん多くなってきて、昨年にはと
うとう要治療という結果が出てしまいました。「医者にあまり
かかったことがない人は、平均したら長生きできないんです。
途中で大病をして、治療した人の方が長生きをしているん
です」以前に聞いたこんな言葉を思い出しました。今までの暴飲
暴食を反省して、健康に気をつけていきたいと思います。(多)

広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成24年4月号 No.547

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎ 0276-88-5511 (代表)

☎ 0276-47-5007 (企画課直通)

☎ 0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードを
ご利用ください。読み取りができない場合は
URL をご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

